

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	法政大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ハウセイダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F113310103484
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	東京都
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	科目名	インターンシップ(都市)
	学部・研究科等名	デザイン工学部・都市環境デザイン工学科
	担当教職員名・役職	山本佳士：教授
	受講者数実績年度	令和3年度
	受講者数※インターンシップ参加者数	18
	受入企業等数	14
	受入企業等名	(株)大林組、島田建設工業(株)、清水建設(株)、西武建設(株)、(株)駒井ハルテック、(株)イー・エー・ユー、(株)アジア航測、(株)エイト日本技術開発、(株)オリエンタルコンサルタンツ、(株)建設技術研究所、(株)高島テクノロジーセンター、中央コンサルタンツ(株)、(株)Tetor、
	インターンシップの分類	2.有給インターンシップ 8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ 9.中小企業でのインターンシップ 10.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	過年度実績：国土交通省関東地方整備局でのインターンシップ	
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例：ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	主に、ゼネコンや建設コンサルタントにおいて、受け入れ先担当者とともに、施工管理や設計、計画、調査、分析業務の体験や演習を実施している。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次	大学 学部3年
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数	大学 2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	学部3年を対象とし、専門科目として休業期間中に実施し、2単位を付与している。

要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法を身に付ける授業等を行っている
		3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている
		4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている
		3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	
3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	社会人としてのマナーや守秘義務の遵守等は、事前の全体説明会において指導している。加えて、インターンシップ受け入れ先決定後に適宜個別に指導している。インターンシップの教育目標等は、事前の全体説明会で説明している。	
3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	成果報告書の提出を義務付けている。	
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細		
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
		4.その他
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	受け入れ企業担当者に、インターンシップ指導報告書の作成を依頼している。
4-3.上記回答内容に関する詳細	インターンシップ成果報告書の提出を義務づけるとともに、受け入れ先企業にも、指導報告書により評価していただき、教育効果を確認している。	
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
		3.複数の企業等においてインターンシップを実施することにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合	5～10日（コースによる）
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合	

	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合	2～3社で実施。1社は2～3日。
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
	5-3.上記回答内容に関する詳細	令和元年度以前は単位認定要件として複数企業における実施も含めて計10日間以上を単位認定要件としていた。令和3年度においてはコロナ禍で企業側の対応が困難になり、4日間以上を単位認定要件とした。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	
	6-3.上記回答内容に関する詳細	受け入れ先企業には、所定フォーマットの指導報告書を提出していただき、大学、教育プログラムに対する意見、要望等を把握するとともに、学生の評価も依頼している。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://syllabus.hosei.ac.jp/web/preview.php?no_id=2102268&nendo=2021&gakubu_id=%E3%83%87%E3%82%B6%E3%82%A4%E3%83%B3%E5%B7%A5%E5%AD%A6%E9%83%A8&gakubueng=AN&t_mode=p c
問い合わせ先	大学等名	法政大学
	担当部署名	小金井事務部学務課デザイン工学部・研究科担当
	担当者役職名	主任
	担当者氏名	八山 直樹
	電話番号	03-5228-3981
	メールアドレス	d2j@ml.hosei.ac.jp